

# 収蔵品展

本年は、下記日程で収蔵品の展示を行った。当館の所蔵する日本画、日本近代洋画、西洋絵画、現代美術の各ジャンルについて幅広く展示機会を設け、さらに同時期開催の企画展との関連も考慮して年間計画を立てた。その際、単に名品・優品を展示するのみならず、明確なテーマに基づいて展示を構成し、より深い鑑賞体験の場を提供できるように心がけた。

本館展示室のみならず、美術館エントランスホールの名品コーナーや、ロダン館1階展示室も活用し、より多くの収蔵品を展覧するべく努めた。名品コーナーでは、常に富士山を描いた作品を1点ご覧いただけるよう計画した。

また、より見やすく、楽しめる展示方法にも配慮し、わかりやすい解説キャプションの作成や、バナーなどを用いた展示ディスプレイも工夫をした。

収蔵品展の宣伝のために、A4版チラシを、年間5回作成した。

## 【本館】

4月26日（火）～5月29日（日）

新収蔵品展

6月5日（日）～7月18日（月・祝）

西洋の風景画

7月20日（水）～9月4日（日）

風一絵の中からそよ吹く

9月6日（火）および10日（土）～10月10日（月・祝）

眼で愉しむ一仕組みられたもの

10月12日（水）～11月13日（日）

版画と写真－複製芸術の可能性

11月15日（火）～12月18日（日）

絵肌（マチエール）の魅力

12月21日（水）～2月12日（日）

西洋美術への招待

3月3日（金）～4月4日（火）

我が愛しのコレクション

## 収蔵品展

MUSEUM COLLECTION

品展

Shizuoka Prefectural Museum of Art  
静岡県立美術館

### 西洋の風景画

2005 6/5～7/18

-物語から風景へ-



2005 7/20～9/4

-絵の中からそよ吹く-



ヨーロッパの絵画の中で風景画は、物語などの存在は少なくありません。物語や風景の物語を伴って、独自の視点で見た風景の物語を描いた作品は、風景画の中で重要な位置を占めています。本展では「物語から風景へ」と題して、西洋の絵画史に見られる風景画、そしてそれ以降の風景画、展開している様子も、当時の風景画に紹介し、また、その後の風景画の展開も、時代ごとの多様な変化を、ぜひご観覧ください。

風は、絵画の歴史の中で重要な役割を、たくくこなしてきました。風景を描いた絵画は、窓が窓の、扉が扉の、音が音がするものが多いです。また、たとえ、そのように描かれていても、心の中の風景が感じられる風景画も多くあります。本展では「風」をテーマに、あちこちで風景画を展覧してみようとするのです。眼に見えないものを感じ取りたい、その感覚が、また、何か新しい風景を生み出すかもしれません。当館所蔵の19世紀の近代洋画から、選りすぐった作品を展覧いたします。

ヨーロッパで活躍した日本の画家たち

8月21日（火）～9月11日（日） ロダン館1階展示室にて

■開館時間：10:00～17:30（観覧料の入館は17:00まで） ■観覧時間：6月5日（日）～6月18日（月・祝）は開館時間10:00まで（入館は19:30まで） ■観覧料：無料（中学生以上210円）（高校生以上300円） ■観覧料：無料（小学生以上100円）（中学生以上150円） ■観覧料：無料（小学生以上100円）（中学生以上150円） ■観覧料：無料（小学生以上100円）（中学生以上150円）

## 収蔵品展

MUSEUM COLLECTION

品展

Shizuoka Prefectural Museum of Art  
静岡県立美術館

### 眼で愉しむ

2005 9/6～10/10

-仕組みられたもの-



眼で愉しむものを見たい、その思いを表現して、またアーティストの発想天啓発想に出会うことは、美術作品を鑑賞する楽しみその一つです。第1展【眼で愉しむ】「仕組みられたもの」の2部構成からなる本展では、色と線の組み合わせによってあたかも手鏡の原理に立体的な構造が現れているかのように見えるオクトー・ヴァグネルの絵画や、鏡を巧みに使うことにより見る角度によって色を変える藤田田二の作品など、ユーモアと才気あふれる芸術的創造力を生み出した作品を、アーティストが得意とするデジタルや動画の技術が、見る上での不思議な感覚を演出させてくれると同時に、新鮮な驚きをもたせてくれるでしょう。

### 版画と写真

複製芸術の可能性

2005 10/12～11/13



版画と写真はともに複製されることを前提とした造形手段であり、かつ工業技術です。そのメディアとしての特徴から、時代を超えてつづいてきた複製芸術を、本展は多くの視点から複製を伝える伝達力であり、時代のキーマンとしての記録性です。本展覧会は、当館収蔵品の中に、そういった複製技術の性格と表現としての芸術との出会いを発見しようとするものです。

静岡NEW ART「あはれ田舎場所」展

September-October 2005 in Shizuoka Prefectural Museum of Art

9月28日（水）～10月10日（月・祝）

開館ギャラリー一階にて ■10月10日（月）10:00閉館

■開館時間：10:00～17:30（観覧料の入館は17:00まで） ■観覧時間：9月28日（水）～10月10日（月・祝）は開館時間10:00まで（入館は19:30まで） ■観覧料：無料（中学生以上210円）（高校生以上300円） ■観覧料：無料（小学生以上100円）（中学生以上150円） ■観覧料：無料（小学生以上100円）（中学生以上150円）

▲チラシ

